

令和5年度一般会計補正予算

補正総額 1億4853万円

原油高騰 燃料購入補助券1万円を 5000世帯に交付

議会だより

YAMANOUCHI TOWN COUNCIL

第136号

令和5年10月25日
(2023)

発行 山ノ内町議会
責任者 議長 湯本 晴彦
編集 広報常任委員会

〒381-0498 長野県下高井郡
山ノ内町大字平穏3352-1
☎0269-33-1101
E-mail
gikai@town.yamanouchi.lg.jp

議会ホーム
ページは
こちらから



フェイス
ブックは
こちらから

もくじ

令和5年第4回定例会関連記事	30
一般質問	32
決算審査	40
監査委員審査意見	42
追跡！審査意見その後	43
陳情・議会全員協議会・お知らせ	44
みんなのひろば・編集後記	45



燃料購入補助券は10月中に全世帯へ交付

第4回議会定例会が、9月1日から22日までの22日間にわたり開催されました。町側より4年度一般財団法人山ノ内町総合開発公社事業及び決算の報告1件、5年度一般会計ほか補正予算2件、4年度決算認定7件、条例の一部改正1件、山ノ内町ゼロカーボンシティ宣言が提案され、それぞれ受理・認定・可決しました。

令和5年度一般会計補正予算(第3号)

米国ベイル町との交流復活に300万円

歳入歳出にそれぞれ1億4853万円を追加して総額を76億4379万円とするものです。

今回の主な補正は、燃料購入補助券1万円、所得割非課税世帯などに2万円を10月中に支給します。

アメリカベイル町国際交流復活の視察研修、英語に慣れ親しむ英語教育ALIT強化、地域活性化起業人の採用により各種スポーツの環境づくりなどに対応するものです。

〔歳入の主なもの〕

普通交付税	1億7590万円
〔歳入の主なもの〕	
歳入歳出にそれぞれ1億4853万円を追加して総額を76億4379万円とするものです。	
今回の主な補正は、燃料購入補助券1万円、所得割非課税世帯などに2万円を10月中に支給します。	
アメリカベイル町国際交流復活の視察研修、英語に慣れ親しむ英語教育ALIT強化、地域活性化起業人の採用により各種スポーツの環境づくりなどに対応するものです。	
〔歳出の主なもの〕	
燃料購入補助券	1億円
(1万円×5000世帯)	
5000万円	
価格高騰所得割非課税世帯支援金	2000万円
(2万円×600世帯)	
1200万円	
農産物等災害対策事業補助金	326万円
道路・側溝修繕工事	1300万円
国際理解教育推進事業	361万円
外国語指導助手1人小学校校へ増員するものです。	
1780万円	
減債基金繰入金	1億円
(保健体育等担当1人)	
380万円	
地域のニーズに沿ったクラブを創設するため、専門員を1人採用するものです。	
インバウンド推進費	100万円
議会費	100万円
友好交流費	200万円
ベイル町国際視察にかかわるものです。	
佐野遺跡測量調査委託料	450万円

報告 町総合開発公社の 4年度事業及び決算

観光クーポン(信州割SPE 利用者数と売上額(前年度比
C-I-A-L) 事業が地域限定の 情報物産館(直売所含む)
「県民割」から全国を対象とし 21万168人(18.4%増)
た「全国旅行支援」へ拡大展開 3億115万円(28.7%増)
されたことや、善光寺御開帳の 楓の湯
効果もあり、コロナ禍にもかかわらず 7万2909人(14.3%増)
わらず回復を見せました。 2544万円(17.3%増)

宣言 山ノ内町 ゼロカーボンシティ宣言

2050年CO₂排出実質ゼロを目指して

「山ノ内町ゼロカーボンシティ宣言」を全会一致で可決しました。
具体的な8つの行動方針

- CO₂排出実質ゼロの町づくりに向けたロードマップ策定
- ユネスコエコパーク登録地域として生態系の保全と持続可能な利
活用の調和
- 再生可能エネルギーの研究と活用を推進
- 施設や住宅などのエネルギー効率の向上
- 持続可能な交通システムの確立
- 農業・林業の持続可能性の確保と適切な森林整備
- 廃棄物の少排出社会の実現
- 環境教育(ESD)の一層の充実

公開します 審議議案と議員の賛否 令和5年第4回定例会

上程議案 賛成：○ 反対：● 欠席：欠 全賛…全員賛成で可決・承認・認定・採択・同意 賛多…賛成多数で可決・承認・認定・採択・同意 賛少…賛成少数で否決・不承認・不認定・不採択 ・不同意	結 果	小 田 孝 志	畔 上 恵 子	小 林 仁	志 鷹 慎 吾	塚 田 一 男	湯 本 る り 子	山 本 岩 雄	徳 竹 栄 子	高 田 佳 久	渡 辺 正 男	山 本 光 俊	小 林 克 彦	白 鳥 金 次	湯 本 晴 彦	
令和5年度一般会計補正予算(第3号)	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
令和5年度介護保険特別会計補正予算(第1号)	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
山ノ内町ゼロカーボンシティ宣言	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する 条例の一部を改正する条例の制定	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
令和4年度一般会計歳入歳出決算の認定	賛多	○	○	○	○	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○	—
令和4年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算 の認定	賛多	○	○	○	○	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○	—
令和4年度後期高齢者医療保険特別会計歳入歳 出決算の認定	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
令和4年度介護保険特別会計歳入歳出決算の認定	賛多	○	○	○	○	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○	—
令和4年度公共下水道事業会計決算の認定	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
令和4年度農業集落排水事業会計決算の認定	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
令和4年度水道事業会計決算の認定	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

ズバリ ここが知りたい

論戦

小学校1校統合問題、「町長と語る会」、長野電鉄湯田中駅、保育園の設備と保育士の現状、町民プールの跡地利用、インボイス制度開始対応、バウチャー制度、地域公共交通の充実、水道施設、町の財政状況、夏まつり山ノ内どんどん、ロマン美術館の利用傾向など

9月5日、6日の2日間にわたり行われ、登壇議員は7人、傍聴者は延べ23人でした。

一般質問とは、住民から重大な期待と関心を持たれる大事な議員活動です。議員がその市町村の行政全般にわたって、執行機関の疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。議員主導による政策議論であることから、執行機関も十分な準備が必要となるため事前通告を行います。

質問者1人の質問時間は25分です（答弁を含めると概ね1時間）。

①		小林 仁	<ul style="list-style-type: none"> ・ロマン美術館の利用傾向について ・人口増と人口減を両方想定していくことについて ・バウチャー制度について
②		湯本るり子	<ul style="list-style-type: none"> ・観光連盟が業務受託した、長野電鉄湯田中駅について ・マイナンバーカードと健康保険証の一体化について ・インボイス制度開始対応について ・小学校の統合問題について
③		志鷹 慎吾	<ul style="list-style-type: none"> ・町民プール跡地利用について
④		畔上 恵子	<ul style="list-style-type: none"> ・町内保育園における保育士の現状について ・保育園内の設備改善について
⑤		渡辺 正男	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校統合議論の到達点と今後の課題は ・全国学力テストの結果をどう分析するか ・地域公共交通の充実にどう取り組むか ・町の正規職員と非正規職員数の推移は
⑥		白鳥 金次	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校1校統合について ・水道施設について ・イベントについて
⑦		小田 孝志	<ul style="list-style-type: none"> ・夏まつり山ノ内どんどんについて ・「町長と語る会」について ・町の財政状況について ・湯田中駅前のコインロッカー設置について

※学校外教育バウチャー制度導入の検討は

教育長—必要に応じてすすめるべきところはすすめる

スキーやスイミングスクール、学習塾や芸術学習など学校教育以外の教育環境の充実をはかるため、使途をより明確にし、受け入れ側でなく利用者側に補助を行うバウチャー制度を充実させることにより、限りある財源の中で効果的に子どもたちの未来へ投資できるのではないかと。当町に限らず近隣市町村の施設や団体等を選択し利用先を決め使用期限を設けて利用者に選択していただくことで使途が不明になることなくご家庭や子ども達が夢に向かって行く支援こそがこれからは大切ではないかと、質問と提案をしました。



こばやし ひとし
小林 仁

※学校外教育バウチャー制度：学習塾や習い事などの学校外での教育サービスに限定して利用することができるクーポンです。経済的な事情によりそれらの教育サービスを利用できない子どもたちのために支給します。



1人ひとりの子どもたちが大きくはばたいてほしい（かえで保育園運動会）

質問 限られた資源の中でより効果的に支援施策を行うために、バウチャー制度を積極的に活用することを模索しないか。
町長 現金給付ではないことから、的確に目的に対して利用が見込まれることが最大の魅力。住民の皆様にとってバウチャー制度の導入の必要性やニーズがあるのかを引き続き研究していきたい。

く。
教育長 例えば学校に行かない、行けない不登校の子ども達が学校外で学ぶという場合に、基本的には今、100%がお家で掛かる経費を支出している状況に対して、世間一般でもバウチャー制度によって経済的格差をサポートし、是正しようとする議論が高まっていることは承知している。新しい支援の仕組みを考える際の財源の確保、国や県の方針の確認などを一つひとつ確認していくことが手順としては必要。ただ、子ども達の状況は待ったなしであること承知しているので、必要であれば、速やかに予算請求をしながら、教育委員会としても積極的に検討をすすめたいと考える。

質問 インバウンドを含めた観光客受け入れにとって美術館周辺の環境整備はトイレや暖をとる待合施設も併せて観光地として当たり前なことでないかと思いきや、抜なトイレを美術館ゆかりの芸術家に依頼し、インスタ映えを狙うことなども視野に検討してはいかがか提案も含め質問。
町長 仮設トイレを5基置すが、待合室プラスアルファのトイレなども今後、大至急考えていきたい。美術館スタッフの通常業務に支障がないよう、観光商工課から1名もしくは数名派遣して、観光案内や荷物の預かりなどのサポート業務をす方向で現在調整中。

歳とってからの勉強の毎日。今だからできるわけで後悔して暇はないと自分に言い聞かせる。いい言い訳みつけ

小林 仁のつぶやき

湯田中駅の観光連盟受託業務は大丈夫か

町長—現時点で対応できることはしている



ゆもと りこ
湯本るり子

質問 長野電鉄との契約内容と実態はどうか。

観光商工課長 契約期間は令和5年4月1日から3年間となっており、業務時間は午前9時から午後5時まで365日無休で対応。

質問 観光連盟は、4人体制でやっているというが人数が足りないと思うが。

町長 もっともだと思う。湯田中駅の現状については衝撃を受けている。観光地として終着地点の湯田中駅が無人とはいかないので、観光連盟に引き受けていた方がいいと思う。

質問 時間外は、インターホンをを使って長野電鉄が対

応するという状況だが。

観光商工課長 時間外の切

符売上は数件であって、そこに人件費を割いての対応



観光客でにぎわう湯田中駅の対応は大丈夫か

はなくていいのではないかと、時間外に降りる客は定期券所有者の割合が高いと聞いている。

質問 観光案内も、通訳ボランティアが忙しそうに対応しているのを見たが。

観光商工課長 観光局設立に向けて冬シーズン前には仮オープンさせ、案内業務も充実をはかっていきたい。

マイナンバーカードと健康保険証の一体化は

質問 7月25日の「信毎」に山ノ内町は紙の保険証で不都合がない、保険証を廃止する方針を撤回するべき

だというような回答をしていた。無保険を生まないためにも、健康保険証の仕組みを残すことが最も確実に、簡素な対応ではないか。

町長 制度設計を慎重にすすめて、不安定な部分を解消するよう要望しつつ、政府方針に沿った対応をしていきたい。マイナンバーカードの交付を受けない人やカードを取得したが、保険証として紐づけられない被保険者に対しては、資格確認書を交付することとされており、無保険扱いとはならないと理解している。

インボイス制度の開始対応は

質問 適格請求書発行事業者の申請数は。

主婦の目に飛び込むのは、またまた値上げの秋。10月1日から4500品目以上の食品が値上がり

湯本るり子のつぶやき

町長 信濃中野税務署に聞き取りしたところ、国全体で登録件数342万件。登録申請書の提出件数が約370万件と公表している。それより詳細な情報については公表していない。町内事業者の申請件数についてもお答えすることはできないとのこと。

質問 令和5年の消費税の計算はインボイス導入でどうなるか。

町長 今まで免税事業者であっても、インボイスに登録された個人事業者は、今年の10月分から12月分の課税売上高について、消費税の申告が必要になる。

旧町民プールエリアの跡地利用は

町長一当面は駐車場として利用

現状は

町長 跡地は利用していない。先月開催した夏まつり山ノ内どんどんでは駐車場として利用。

今後の利用予定は

質問 アクティビティ公園として検討されたか。

観光商工課長 ゲートボール場以外の利用方法を課内で模索。イベントを行うとき、駐車場が必要。当面は駐車場として利用。

質問 モジュラーパンプトラックのような施設等を検討しては。

モジュラーとはパーツという意味。簡単に設置・解体ができ、移動式パンプトラックコースのこと。パンプトラックとは、自転車やスケボー、キックボードな



したか しんご
志鷹 慎吾



モジュラーパンプトラックのイメージ

どで楽しめる凸凹の^{（クワ）}コブが連続した波状コースで、上級者になれば漕がずに、凸凹の上下時の身体の重心移動や加重を使って前進することができ、スキーにも応用する動きでもある。オリンピック種目にあるローラ

ー系競技のトレーニングスペースとしても使用される。モジュラーパンプトラックをつくるメリットは、基礎工事が不要、平面さえあればどこでも移動でき、設置可能。屋内のスペースはもちろん、全天候型で芝生の上、アスファルト、コンクリートなど、どこでも設置することが可能。公園、イベント会場、スキー場、98会館などでも可能。さらにこの施設があれば、山ノ内町として志賀高原ユネスコエコパーク環境学習プログラムとアクティビティ体験を組み合わせ、教育旅行の誘致が可能だと思う。アクティビティも幅広い年齢層、幅広い技術レベルで体験でき、自転車を使っても楽しめるのであれば、教育旅行としても魅力的に感じ

ると思う。観光客へのアピール、教育旅行の誘致をすべきではないか。
町長 モジュラーパンプトラック施設という具体的な提案があり、貴重な提案として研究していきたい。やまびこ広場全体の方向性を考えていきたい。町全体の公園の整備、子どもがもっと気軽に行ける公園を整備したい。このアクティビティ施設が山ノ内町として有効かどうか検討していく。

質問 今、町民の方々に少しでも早く豊かになってほしい。大きな施設をつくるのではなく、移動式のものに施設に置くという形で、少しでもお客様が訪れるような魅力的なものなどをもっとスピード感を持ってやってほしい。

幼児～大人まで、初心者～上級者まで、同じコースで楽しめるアクティビティ！屋内ゲートボール場に置くだけで、めっちゃ遊べて楽しいのになあ！

志鷹慎吾のつぶやき

保育士の現状および保育園内の設備改善は



あぜがみ けいこ
畔上 恵子

町長—処遇改善も含め保育施設の充実に取り組む

質問 町内保育士の現状は、子育てしやすいまちづくりとして、保育施策の充実とともに施策充実のためには保育士の処遇改善も必要不可欠と考えている。今後精査し、取り組めるところから順次取り組んでいく。

質問 保育士増員への取り組みは。

町長 保育士の人脈を通じて、常にOBへの働きかけを行っている状況。

質問 処遇改善の見込みは。

町長 正規職員との格差是正のため、有資格者の会計年度職員に関しては、令和3年度から5年間でおおむ

ね3%の基本給の上昇をめぐり、とした処遇改善を行っている。正規職員に関しては、行政職の俸給表に基づいて支給を行っている。国の人事院勧告による引き上げがあれば、反映される状況。

質問 延長保育の現状把握はされているか。

町長 延長保育を利用される園児も増えている。配置基準は満たしているものの、有資格者の保育士が不足している状況で、正規職員への負担が多くなっていると認識している。

質問 病児保育の受け入れ状況は。

町長 場所的な問題として

専用スペースが必要となり、要がある。受け入れ可能な動線も他の児童と分ける必要があり、時期の判断、医師の協力や



須賀川保育園 楽しいパンづくり



看護師の配置等、課題が多いため、現在は行っていない。今後どのようにすれば受け入れ可能となるか、引き続き検討していく。

質問 民営化移行の考えは。

町長 現状では考えていない。

質問 園内の設備改善は。

町長 職員用トイレの改修予定は、町民や保育士に温水洗浄便座設置要望に関して任意アンケートを調査した結果、必要ないとの回答が最も多く、子どもに必要なところに予算を使っているとの意見があった。状況を勘案しながら、今後検討していく。

質問 更衣室の設置は。

町長 全保育園にはないが、休憩室や空いている部屋等で適時着替えているため、新たに設置は考えていない。

質問 各園の冷暖房機は。

町長 ほぼ全室設置されているが、床暖房の現状は1箇所となっている。

友人から新米が届きました。塩むすびで美味しくいただきます

畔上恵子のつぶやき

小学校統合推進室の設置は



しろとり きんじ
白鳥 金次

町長―集中してすすめるための体制づくりが必要

町長 本年度内に統合小学校の位置と開校の目標年度について示し、整備計画が策定となる次年度から、基本設計、実施設計に着手することとなる。整備計画が策定された際には小学校統合の事務が膨大になることが予想されるので教育委員会内に学校教育係とは別に小学校統合を集中してすすめるための体制づくりが必要と考えている。

質問 魅力ある人間が育つ学校が私は魅力のある学校になっていくと思うが。

町長 魅力的な学校という意味では、魅力的な人間が育つということももちろん

ある。しかし、まずは育ち方だと思う。今は多様性の時代なので、様々な育ち方をすべきだと私は思っている。それが個人、一

個人が魅力と感ずるかとかというのはちょっと違うと思う。その魅力ある人材を育てるのは、外から見たときに、山ノ内町のこの学校に自分の子どもを通わせたいと思う学校。

そして、今これからの子育て世代の方々が、こんな学校で、こんな空間だったら自分の子どもを通わせたいと思ってもらえる中身と空間を作れるのが、一番魅力的な学校ではないかと、

私は思う。

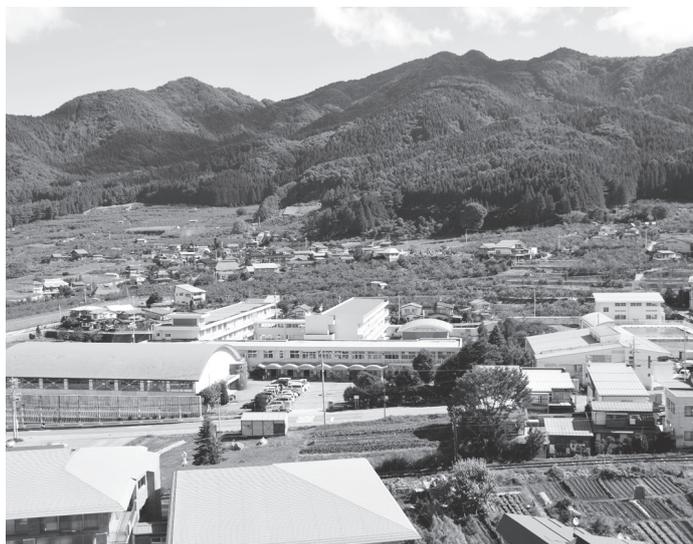
各種イベントの集客状況は

町長 本年度町が実行委員会事務局として実施計画しているイベントは、4月の雪の回廊ウォーキング、8月の志賀高原カレッジコンサート、9月の志賀高原ヒルクライム、10月の温泉カストロノミーウォーキング。

新型コロナの影響により開催を中止し、または縮小して実施してきたイベントも本年度からコロナ前と同様に開催してきている。集客状況は既に開催したイベントでは、コロナ前の状況に

質問 戻りつつあると感じている。温泉カストロノミー

ウォーキングは、多くのスタッフが必要と思うが、住



山ノ内中学校全景 統合から60年が経過

民等のボランティアの募集は。

観光商工課長 昨年の参加者からは住民との触れ合いが非常に良かったという感想をいただいたので、呼びかけていきたい。今のところ、山ノ内中学校の生徒が数人、また、立志館の生徒が30人ほど、当日、スタッフとしてボランティアで参加していただけるので、それぞれどこに配置をするかを今、練り上げている。また、はやそば、イワナの塩焼き、リンゴのもぎ取り等で地域の住民の協力も予定している。

タイムマシンは60年前、山中グラウンドの開校式に1450人の生徒。次なるミッションは2030年統合小学校グラウンド🎯

白鳥金次のつぶやき

町長が考えている町の財政状況好転とは

町長一ふるさと納税額を10億円に増やしたい



おだ たかし
小田 孝志

※1 財政力指数：地方公共団体の財政力を示すものであり、1に近いほど財政力が高い。

※2 経常収支比率：財政構造の弾力性を測定する指標。低いほど弾力性があり、政策的に使えるお金が多くある。

※3 PPP：公共施設の建設・維持管理、運営等を行政と民間が連携して行うことで、民間の創意工夫や財政資金の効率化などの効果がある。(Public Private Partnership の略)

※4 PFI：公共施設の建設、維持管理、運営等に民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用することにより、同一水準のサービスをより安く、または同一価格でより上質のサービスを提供する手法。(Private Finance Initiative の略)

議員となり早4か月が過ぎ、果たして自分に何ができるのか。自問自答の日々です

小田孝志のつぶやき

町の財政状況は

【質問】 近隣町村および類似町村に比べ、町の財政状況はいかがか。

【町長】 財政力指数^{※1}について、令和3年度決算では長野県内77市町村中33番目である。この指数と経常収支比率^{※2}を他の町村と比べると、良いほうと言えらる(図参照)。

【質問】 令和4年度決算を評価すると100点満点として何点付けられるか。

【町長】 点数を付けるのはなかなか難しいが、竹節町町長の健全経営を評価して80点以上はつけてもよいと思う。

【質問】 一般会計全体に対して自主財源の比率、金額は。
【総務課長】 令和4年度の歳入の決算ベースで、全体で84億4400万円、自主財

令和3年度決算より

	※1 財政力指数	※2 経常収支比率
山ノ内町	0.4	79.2(%)
中野市	0.53	85.8
小布施町	0.42	80.6
野沢温泉	0.19	81.6
白馬村	0.44	74.3
二セコ町	0.31	83.7
倶知安町	0.62	81.3
類似団体	0.3	85.5
全国平均	—	88.9
長野県市町村平均	0.39	82.9

今回の質問に対する答弁より

源は22億8938万円で、27・1%。
【質問】 第6次総合計画でも「自主財源の確保」という文言が謳われている。人口減少の中で自主財源を

確保する方策は、**【町長】** 手取り早い方法としてはふるさと納税の活用を考えたい。それ以外の自主財源を新たににつくろうと思ってもなかなか難しい。

大型施設の建設、運用については、PPP^{※3}とかPFI^{※4}とか官民連携の取り組みがすすんでいる。民間企業と自治体が組むことにより町民サービスをしつかりできるよう、様々な手法を検討していきたい。
【質問】 町長の公約にもあるが、人口減少に歯止めをかけることも財源確保として重要。将来人口をどのくらいに持っていきたいか。
【町長】 2030年でも1万1000人を維持したい。若い人が賃貸で住める物件がないという現状もあり、官民連携しながら取り組んでいきたい。

【質問】 新たな施設の建設について、優先順位を含め構想は。
【町長】 重要度の高い優先順位を考えると、まずは学校をどうするかだ。町民サービスという点では、体育館やプール。観光面では観光案内所機能のあるビジターセンター。廃屋ばかり目につく湯田中駅周辺の開発も重要。ほぼすべて同一にすすめていかざるを得ないという危機感を感じている。

湯田中駅前のコインロッカー設置は

【質問】 インバウンド客がこれから増えてくると予想されるなか、スーツケースの入るコインロッカーの設置が必要と考えるが。
【町長】 荷物を預かる施設、場所の必要性は認識している。現在、新たにコインロッカーを増設することを調整している。

令和4年度一般会計決算

歳入84億4487万円、歳出80億4517万円

単年度収支は6743万円の黒字

7会計決算を認定

令和4年度一般会計ほか6会計の決算は議会選出の監査委員を除く12人の委員による予算決算審査委員会（委員長 白鳥金次、副委員長 湯本るり子）に付託され、9月8日～9月13日（土日を除く）の4日間にわたり、町側の説明および資料の提出を求め、慎重に審査し部会意見を付しました。本会議での採決結果は一般会計・国民健康保険・介護保険特別会計は賛成多数（賛成10反対2）、その他4会計は全会一致で認定しました（決算の概要は、広報やまのうち9月号をご覧ください）。



佐久市のデマンド交通の現状を視察

部会意見

第1部会 一般会計

《総務費》

○デマンド交通は、実証実験結果を反映した利用者主体の本格運用につなげる。

○ふるさと納税は返礼品（農産物）の拡充をはかり、目標達成に向けて取り組む。

《農林水産業費》

○林道および里山維持は森林環境譲与税を充当し森林整備につとめる。

《商工費》

○観光局の設立には、関連団体との調整に万全を期す。

○ユネスコエコパーク施策の推進には、住民への啓発などを含めた関連事業に取り組む。

《土木費》

○危険な空家の解消とともに、増やさない対策につとめる。

○湯田中温泉公園整備は、賑わいのある街並みづくりと一体的にすめよう。

《水道事業》

○安定供給に向け、水源および施設の整備には万全を期す。

第2部会 一般会計

《危機管理費》

○地区防災計画は全地区で策定されるよう支援につとめる。

《民生費》

○子育て支援・学校教育に関して、ワンストップで対応できる組織体制を検討する。

《衛生費》

○地球温暖化対策推進法に基づき地方公共団体実行計画（事業編・地区施策編）を策定し、2050年二酸化炭素排出実質ゼロを目指す。

○新型コロナウイルス予防接種は補助を検討する。

《消防費》

○消防施設（水利・警鐘楼）の整備は、計画的に推進する。

《教育費》

○小学校統合は、子どもたちの教育環境がより良いものとなるようつとめる。

○総合型地域スポーツクラブは、拠点となる体育施設の検討をおこなう。

○給食費の公会計化および無償化の検討をおこなう。

特別会計

《国民健康保険》

○算定方式の変更については、急激な保険税負担の変化を緩和するよう検討する。

《介護保険特別会計》

○第9期介護保険事業計画策定にあたっては、保険者機能強化推進交付金・介護保険保険者努力支援交付金に係る評価指標の総合得点が向上するようつとめる。

一般会計

反対討論

渡辺 正男

当初見込んだ減債基金からの1億円と財政調整基金からの3億9467万円繰り入れはともに皆減となり、逆に5500万円の積み立てになった。2つの基金は、コロナ禍で4億5900万円も増えて「コロナ太り」とも言える状況。町民の暮らし・生業を支え、守るための町独自の施策は充分だったのか、疑問が残る。統合小学校整備計画は、年度末に向けて結論を急いだという拙速感が否めない。

賛成討論

小田 孝志

3年連続で80億を超える大型決算となったが、このことはより多くの資金を工面し、子育てはじめ介護、医療そして様々な行政サービスに提供ということであり評価できる。収納率は、全体では25%増の84.8%と微増ではあるが前年度より上回った。経常収支比率は、燃料高騰に伴う光熱費の増などにより83.6%となり、前年度に比べ4.4ポイント悪化した。近隣や類似町村に比べ決して見劣りするものではない。

総括意見

予算決算審査委員会 委員長 白鳥金次

新型コロナウイルス感染症は、変異を繰り返し夏には、感染力の強い「BA・5」が猛威を振るった。令和4年7月14日には感染者の累計が全国で1000万人を突破し、同23日に1日の感染者が20万人を超えた。

一方で、ワクチン接種がすすんだことで重症化リスクや致死率は大きく低下した。政府は9月、全ての新型コロナウイルス感染者の「全数把握」を見直した。10月には全国旅行支援を開始するとともに、水際対策も大幅に緩和され、町内に明るい兆しが見え始めている。しかしながら、ロシアのウクライナ侵攻は、最終が見えず、原油価格、穀物価格や肥料価格、農薬価格などあらゆる分野で物価上昇が始

まり、農業はもとより全産業は厳しい経営状況に陥っている。また、昨年12月竣工予定の新東部浄水場建設工事が、コロナやウクライナ侵攻により半導体が納品できず、令和5年度へと大幅な工期延長となった。世界の情勢が、大きく影響を及ぼしていることに



大勢の観光客が降り立つ湯田中駅

今後も注視し、柔軟に対応していくことが求められている。4年度一般会計決算規模は、歳入84億4487万円（対前年度比0.9%減）、歳出80億4517万円（対前年度比1.8%減）翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支では3億7735万円となった。また、前年度実質収支額は6743万円の黒字となった。

（歳入）

町税が前年度の固定資産税軽減が通常に戻ったことなどにより、16億7044万円（対前年度比17.0%増）、町債は新東部浄水場建設に伴う出資債や社会体育館解体事業などで8億9056万円（対前年度比31.2%増）となった。一方、地方特例交付金は、固定資産税軽減に伴う減収補填がなくなったため3億655万円減、国庫支出金は子育て世帯等臨時特別交付金事業

がなくなったことなどにより3億1255万円減となった。

（歳出）

商工費が宿泊促進クーポン券事業の減などにより1億4299万円減、教育費がすぐかわふれあいセンター整備工事が完了したことなどにより2億4383万円減、また、災害復旧費では、令和元年台風19号災害復旧事業が完了したことから9247万円減となった。

（まとめ）

健全な町の運営においては、自主財源の確保が不可欠である。そのためには、基幹産業である観光と農業の活性化が重要課題である。コロナ禍を脱するこのときこそ、この課題に官民一体となって協働し、立ち向かっていくときである。第6次山ノ内町総合計画では、「未来に羽ばたく、夢と希望のある 健康な郷土」を将来像に掲げている。町当局は目的の地への羅針盤をしっかりと定め、すすんでいくことを望んでいる。

国民健康保険特別会計

反対討論

渡辺 正男

保険給付費は、当初の11億4952万円に対して決算は9億3080万円と2億円以上も下回った。保険税算定における県への納付金仮算定額2%上乗せを見直したことは評価する。均等割については、国の制度として、未就学児のみ半額軽減がスタートした。均等割は他の医療保険にはない、子育て支援にも逆行する不平等な制度。町独自でも子ども均等割の負担軽減に取り組みべき。

介護保険特別会計

反対討論

渡辺 正男

4年度は、第8期介護保険計画の2年目。保険給付費は8308万円で下回った。被保険者数が2年度4881人から4年度は4771人へと減少し始め、要介護認定者数が約900人でほぼ変化なく推移していくことを考慮すると、今後大きく保険給付費が増えることは考えづらい。基金と繰越金は被保険者1人約5万3000円にもなる。これは速やかに介護保険料の大幅な負担軽減に充てるべき。

令和4年度一般会計および特別会計

総括意見（抜粋）

町の基幹産業である観光は、コロナ禍の影響を受け、厳しい状況が続いているが、令和4年10月開始の全国旅行支援による旅行需要の回復やインバウンド解禁に伴う外国人旅行者の増加などにより、明るい兆しも見え始めている。一方、既に宿泊業などでは人手不足が深刻化しており、人材不足解消の有効施策を官・民一体となって早急に取り組んでいく必要がある。また、ウクライナ情勢の長期化、深刻化は、世界経済へ大きな影響をもたらす原油や原材料価格、流通コストの高騰などにより、わが町におけるもう一方の基



社会体育館解体跡地

幹産業である農業分野においても、資材の供給不足や価格の高止まりなどの影響で、厳しい経営状況に置かれている。

令和4年度は、新東部浄水場建設事業に係る水道会計事業への補助金や新型コロナウイルス接種をはじめとする感染症対策関連事業、社会体育館解体事業などにより、一般会計は3年連続80億円を超える大型決算となった。

第6次山ノ内町総合計画の将来像に掲げる「未来に羽ばたく、夢と希望のある健康な郷土」の実現に向け、時代の潮流に敏感に対応し、住民ニーズに的確に対応する施策を展開する必要があり、重点施策や緊急課題への対応と合わせ、事業におけるコスト意識を十分に徹底し、基本目標達成のための一層の取り組みが望まれるところである。

個別意見

1 役場体制の見直しを継続し、計画的な職員の採用や、専門職及び社会人枠の積極的な採用、5年度から導入となる定年引上げ制度を活用しながら、適切な人事行政を推進すること。ま

た、職員のハラスメント防止、メンタルヘルスの取り組みを引き続き推進された。

2 第7次行政改革大綱を踏まえ、多様化する行政ニーズや重点施策に対し、限られた人材でも対応できるように、他の自治体の取り組み事例などを研究し、アウトソーシングを積極的に推進されたい。

3 行政手続きをはじめとしたデジタル化の推進に向け、マイナンバーカードの有効活用なども踏まえ、各課で十分連携しながら住民サービスの向上と行政事務の効率化を図られたい。

4 基金等は安全かつ適正な運用に努め、長期運用にあつては地球温暖化対策や再生可能エネルギーなど環境分野への取り組みを支援する「グリーンボンド債」の購入を引き続き検討されたい。

5 税・料金等の収納率向上のため、関係課が一層連携しながら対応するほか、滞納整理機構への移管や地方税法の町県民税徴収における特例制度の活用など、よ

り徹底した滞納処分と、不納欠損を行われたい。また、コンビニ納付の利用促進、キャッシュレス決済の一層のPRに努められたい。

6 観光局の立ち上げにあつては、町が関与できる組織体制となるよう進められた。

7 ブランド農業生産振興対策について、供給量や品質の安定、生産量の拡大を目指す、農家所得の向上に努められたい。

8 空き家対策及び移住定住対策について、各課で連携し横断的な取り組みを進められたい。

9 移住・定住の推進に向け、

希望者の掘り起こし、田舎暮らしの魅力発信、移住後のサポートをさらに推進されたい。

10 結婚支援事業の充実に向け、他の自治体の優良事例を取り入れながら、移住交流推進室とも連携し事業の一層の推進を図られたい。

11 人口増に向け、子供へのサポートだけでなく、育児における相談体制の充実、心身の不安や負担の軽減など、出産や育児に対する支援を一層充実し、積極的にPRされたい。

12 災害をはじめ様々なリスクに備えるため、住民に対する啓発・指導を積極的に

行うとともに、自主防災組織へのサポートを進められたい。また、すぐメール登録件数の増加対策を検討されたい。

13 消防団の再編に対し、きめ細かなサポートを行うとともに、引き続き団員の確保に努められたい。

14 小学校の統合に向けては、3月に作成された整備計画案を町民に丁寧説明し、十分議論のうえ、実現に向け取り組まれたい。

15 総合型スポーツクラブの立ち上げにあつては、スポーツ推進計画に基づき地域ニーズに沿ったクラブ創設を目指して進められたい。

令和4年度公営企業会計

水道事業

審査意見

ア 新東部浄水場の竣工後は、水道水の安定供給に向け万全を期されたい。

イ 収納率向上のため、引き続き徹底した取り組みをされたい。

ウ 施設の老朽化に伴い、引き続き計画的な施設更新をされたい。

エ 水源地の維持管理作業等においては、より安全で効果的な方法を引き続き検討されたい。

公共下水道事業

おおよび農業集落排水事業

審査意見

ア 収納率向上のため、引き続き徹底した取り組みをさ



新東部浄水場

イ ストックマネジメントにより、施設や管渠について計画的な更新を進められた。

- 総合型地域スポーツクラブの設立に向けては、町民の理解を得て、慎重にすすめること（令和3年度決算）。
- 総合型地域スポーツクラブ設立に向けては、課題を明確にしてすすめること（令和4年度予算）。

- ①令和6年度設立に向け、令和4年4月に設立準備委員会を立ち上げました。委員には、体育協会・スポーツ推進委員会・スポーツ少年団・中学校校長等、10人の他、県教育委員会3人がオブザーバーとして参加、8月と1月を除き、毎月1回準備委員会を開催。
- ②子どもから高齢者まで、スポーツを愛好する人々がそれぞれの志向・レベルに合わせて参加できる、地域住民により自主的に運営されるスポーツクラブを目指します。
- ③スポーツくじ助成金を活用しながら、地域おこし協力隊を中心に、キッズスポーツ教室（サッカー・ダンス・バレーボール・空手・ソフトボール 5教室：会員数約60人）を開催。今後、大人・高齢者向けの教室も展開していきます。



塚原直貴講師による「走りかた教室」
（9月10日 やまびこ広場）

- 小学校の統合については、調査結果を踏まえて、ロードマップを明確にすること（令和3年度決算）。
- 統合小学校建設に向けた調査には万全を期すこと（令和4年度予算）。



第6回小学校統合準備委員会（7月21日 町文化センター）

- ①計画地である中学校敷地の一部を測量調査（ドローン・図根点測量）を実施しました。
- ②町立小学校の統合を円滑に行うために必要な事項を検討および調整を図ることを目的に小中学校、保育園の保護者代表、小中学校教職員、地域の住民代表、学識経験者で組織する町立小学校統合準備委員会を令和4年12月に設置し、令和5年3月までに5回の委員会を開催し整備計画案を取りまとめました。

追跡！ 審査意見その後

令和3年度決算・4年度予算の審査意見に対し町がどう取り組んできたのかを、令和4年度決算審査において現況報告のあった主なものを紹介します。

皆さんからの 請願・陳情

受理番号	件名	陳情者	採決結果
陳情第6号	「健康保険証」の存続に関する意見書の提出を求める陳情書	長野県保険医協会 会長 宮沢 裕夫	継続審査

議会全員協議会

第9回（7月28日）

- (1) 議会側からの提出案件
 - ①夏まつりについて
 - ②議会報告会について
 - ③スマホアプリのボイスレコーダーについて
 - ④討論の内容および制限時間について
 - ⑤教育委員会との懇談会について

第10回（8月30日）

- (1) 議会側からの提出案件
 - ①教育環境について
 - ア 統合小学校の対応について
 - イ メディアリテラシー（インターネットを含む）の対応について
 - ウ ユネスコスクール（ESD）の取り組みについて

第11回（9月1日）

- (1) 執行機関側からの提出案件
 - ①丸池油漏えい事故について
 - ②4年度決算に係る財政健全化判断比率及び資金不足比率の報告について

- ③5年度コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の使途について
- (2) 議会側からの提出案件
 - ①5年度県特別豪雪地帯指定市町村議会協議会総会の議題提出について

第12回（9月22日）

- (1) 執行機関側からの提出案件
 - ①5年度竜王地区貸借契約の一部変更について
 - ②第7次行政改革大綱実施計画（5年度版）について
- (2) 議会側からの提出案件
 - ①議長諮問について
 - ②議会報告会について
 - ③議会での発言・質疑などについて
 - ④その他
 - ア 岳南消防本部からの説明日程について
 - イ 2か月先スケジュールについて

第13回（10月4日）

- (1) 執行機関側からの提出案件
 - ①岳南広域消防本部及び中野庁舎について

視察受け入れ

10月5日、福島県只見町議会の議会運営委員5人と事務局1人が管外視察に来庁され、議会改革を推進するため、当町議運委員6人と意見交換をしました。平澤町長と白鳥副議長から歓迎のあいさつがあり、只見町齋藤議運委員長からも「闊達な意見交換ができることはありがたい。」と視察受け入れ感謝のあいさつがありました。



第17回議会報告会のお知らせ

本年度の議会報告会は、誌上ではなく4年ぶりに1月中旬から2月上旬にかけて、地元の5会場で開催することが決定しました。詳しい情報はのちほど広報などでお知らせしますので、よろしくお願いいたします



第13回議会報告会の様子

信州の伝統野菜

前坂大根 後世に伝承を



「おいしい信州ふーど」前坂大根のページ



大根栽培の適地 前坂原

高社山と犬首山の間「唐箕通し」から「山背」と呼ばれる冷たい風の吹く前坂原。大根の播種は、暑い時期を避け、涼しくなってから行うのが一般的ですが、前坂原では8月中旬には可能です。冷涼な気候と日当たりの良い南向き斜面、そして、火山灰土壌で石もないなどの好条件が、品質の高い大根を育みます。「夜間瀬村々誌」の大正6年の調べでは、大根の生産量6140駄(約830t)。その約半分は平穩村へ売却との記述があります。



特徴的な形状の前坂大根

前坂大根の会

今回は、信州の伝統野菜に認定されている前坂大根の栽培、消費拡大、種の保存に取り組んでいる夜間瀬前坂地区の「前坂大根の会」を紹介します。会長の宮津好男さん、会員の小坂のり子さんに取材、資料提供をいただきました。

前坂大根の誕生

その後、大正から昭和の初めころ、江戸野菜である「練馬大根」と地大根との交配によって前坂大根が誕生したと言われています。

前坂大根は、主に長期貯蔵用のたくあん漬として利用されますが、おろしてソバの薬

味などにも良いとされています。根長25〜30cmと細長く、根重は300〜350g。やや下膨れし、緻密で硬い肉質。辛みがとても強く、水分が少ないことが特徴です。

第二次世界大戦前後が栽培の最盛期で、温泉街の旅館に盛んに出荷されてきました。しかし、国民の食生活の変化による漬物離れが進行し、地域に果樹栽培が導入され、次第に盛んになっていく中で、前坂大根の栽培は減少の一途をたどります。

種の保存に取り組み 「前坂大根の会」

危機感を抱いた地元農家の有志たちは、2004年、前坂大根を守り継承する活動をスタートさせました。栽培希望者を募り、学習会や種の選抜調査などに取り組み、2007年には信州の伝統野菜に認定されました。それを受けて2009年、「前坂大根の会」が結成されました。

現在は、会員と協力員15人ほどで、共同圃場(約10a)での栽培管理作業を行っています。



西小児童と一緒に種まき(伝統野菜継承教育授業)

昨年度からは、町立西小学校3・4年生と「伝統野菜継承教育授業」(県の事業)として、学校栽培支援にも取り組んでいます。

種をまくところから、間引き、収穫、さらに漬物にするところまで会のメンバーと一緒に作業を行っています。

会長の宮津好男さんは「前坂大根の維持・継承の活動は、会員の減少や高齢化で今後の取り組みには不安がある。県の原種センターで種の保存に協力いただいているが、子どもたちをはじめ、大勢の皆さんに知っていただき、後世にしっかりと繋いでいってほしい」と語ります。

編集後記

コロナ禍で実施できなかった管外視察も、社会文芸常任委員会が10月10日・11日に実施、総務産業常任委員会は31日・11月1日に実施予定です。町も米国ベイル町を訪問して交流を再開しようとしています。

こうした視察や活動を通して通常を取り戻そうとしておりますが、どう解釈していくかがポイントです。先日「いかり」について

解説していたテレビ番組をみました。その中で「いかり」は「はず」から生ずるとしていました。「あるはず」「するはず」「思うはず」：世の中には人の数だけ「はず」が存在します。「いかり」は理解による「理性」によって制御されるのだそうです。理解するもの、理解してほしいと望むもの双方の努力が不可欠です。

この議会だよりも議会の活動を理解していただくために更なる努力をしていかねばと考えています。

(山本岩雄)